

平成26年度 あったかい言葉優秀作品を紹介します！

揖斐川町青少年育成町民会議主催で、家族の一行詩を募集しました。合計 2,789 作品の応募があり、その中で100作品を選出しました。今月号は50作品を紹介します。 (敬称略・学年順)

揖斐小学校 1年	ささの そうた	ぼく から おとうさんへ	「とうさん、はやくねてね。」 とうさんががぜをひいたとき、ぼくが「おとうさん、はやくねてね。」といったら、とうさんは1にちでなあったよ。
揖斐小学校 2年		いもうと から わたしへ	「おねえちゃん。」 いつもは、名前でもわたしのことをよんでいたが、「おねえちゃん。」とはじめてよんでくれたとき、とてもうれしかったよ。
揖斐小学校 3年	服部 怜恩		水泳のはじめての試合で、きんちょうしてた時、「ベストタイムを出そうね。」と言って、かたをくんだ友だち。本当はライバルなのに、うれしかったな。
揖斐小学校 4年	細野 あいか		「一番しあわせ」 「あなたが笑顔で元気でいてくれることが、ママが一番しあわせ。」といってママは私をぎゅっとだきしめます。「一番大切なのはあなただよ。」その言葉につつまれて、一緒にねむる時がしあわせです。
揖斐小学校 5年	五十川 純啓		「お、ナイスボール」「いいスイングだ」 ぼくは、家でお父さんと野球の練習をしている時に、いい球を投げられた時に、「お、ナイスボール。」とほめられました。あと、すぶりの練習をしている時に、「いいスイングだ。」といってもらいました。この2つの言葉がとてもうれしかったです。
揖斐小学校 6年	若園 康大		「みんなの分、分けよ!」 弟がみんながおやつをほしがると、一番最初に「みんなの分、分けよ!」と言い、お皿を用意して配り始めるのです。ぼくはうれしかったです。
大和小学校 1年	大むら けんた	おとうさんとおかあさん から ぼくへ	「がんばれー」 うんどうかいのとき、「がんばれー」といってくれたから、リレーにかかってうれしかったです。
大和小学校 2年		おじいちゃん から ぼくへ	「はるくんがりょうりをやったらおいしいね。」 ぼくがカレーをつくったら、おじいちゃんが「はるくんがつくったらおいしいね。」と言ってくれました。うれしかったです。
大和小学校 3年			さかあがりの練習をしている時に友達が、「がんばれ、もうすこしでできる。」と言ってくれたのでうれしかった。おうえんしてくれてさかあがりができる。友だちが「やったね。」と言ってくれた。
大和小学校 4年	西田 葵		あいさつ 学校に行く途中、地域の人たちが「おはよう。」と声を掛けてくれます。私は、とてもうれしいので、元気よく「おはようございます。」と言うように心がけています。
大和小学校 5年	仲井 ルナ		「元気がいいね」 毎朝、私が大きな声で笑顔であいさつをすると、あるいていたおじさんがあいさつをして、「元気がいいね。」といってくれました。その時、とてもうれしくなりました。だから、あいさつは笑顔で元気よくするとみんながにこにこ笑顔になれるんだと思いました。
大和小学校 6年			「おはよう。」 登校のとき、だれでも「おはよう。」と声をかけてくれるので、いつもうれしいです。なのでぼくも友達に言いたい「おはよう。」と声をかけています。
北方小学校 1年	わたなべ かりん	おかあさん から わたしへ	「たすかるわ。ありがとう。」 おとうとのおせわをしたら、おかあさんが、「ちいさいおかあさんがいるからたすかるわ。ありがとう。」といってくれたから、もっとおせわをがんばるよ。
北方小学校 2年	細野 捺愛	おかあさん から わたしへ	「スゴイね。」 べんぎょうをがんばっていたら、ママが「スゴイね。」といってくれて、とてもうれしかったです。これからもがんばりたいです。
北方小学校 3年	たかはし おとは		「こうするといよいよ」 漢字がまちがっていたり、とめ、はね、はらいがしてなかったりすると、お母さんが「こうするんだよ。」とか、いろいろ教えてくださって、心がほかほかになって、わかるのがとてもうれしくなりました。
北方小学校 4年			わたしの家族はいつもわたしが起きてくると、「おはよう。」と言ってくれます。地いきの人たちもいつも「おはよう。」と言ってくれます。わたしは今日も1日がんばろうという気持ちになれます。
北方小学校 5年	細野 乃詠		「気を付けて帰るんやよ。」 学校の帰り道でボランティアのサポーターさんがいつも言う。気を付けて帰るんやよ。私は「さようなら。」と返す。弟はてれくさそうに「はい。」と返事をする。今日も一日楽しかった。明日も一日がんばるぞ!という気持ちになります。
北方小学校 6年	林 朋宏		「大じょうぶ?」 ぼくがケガをして、久しぶりにみんなと会った時に、すかさず友達が「大じょうぶ?」「痛くない?」と話してくれて、「こんなにぼくのことを心配してくれたんだ。」と心があたたかくなり、元気に「もう大じょうぶだよ。」と言葉を返すことができました。
清水小学校 1年		おねえちゃん から ぼくへ	「いっしょにねようね。」 ぼくが、おにいちゃんから、よるにいじわるをされて、ないたとき、おねえちゃんが、「いっしょにねようね。」といってくれたのでうれしかったです。
清水小学校 2年	木口そういちろう	おとうと から ぼくへ	「だいじょうぶ、こわくないよ。」 ぼくが、おばけやしきにはいってなきながらできたとき、2さいのおとうとが「いにいだいじょうぶ。こわくないよ。」とだきしめてくれました。
清水小学校 3年	宗宮 大輝		「だいじょうぶ?」 いつもけんかばかりするお兄ちゃんが、ぼくがびょうきのときに何回も「だいじょうぶ?」と言ってくれた。ぼくはいつもけんかばかりするお兄ちゃんだけど、本当はとてもやさしいんだなと思いました。
清水小学校 4年	山見 晴南		ドッジで、年下の子が「入れて。」と言ったけど、人数が多かったので、私が「ぬげるから、入ってもいいよ。」と言ったら、年下の子がニコニコして、「ありがとう。」と言ってもらえてうれしかった。
清水小学校 5年			「外で遊ぼ。」 お兄ちゃんのご飯を食べ終わると、「外で遊ぼ。」とさそってきます。毎日ではないけれど、とてもうれしいです。わたしは、長く遊ぶように、なるべく早く食べ終わるようにしています。
清水小学校 6年	今村 芽采莉		「おはよう。」 朝登校の時、地域の人や友達が「おはよう。」とあいさつしてくれる。私は、ぼつと顔が赤くなった。あいさつってまほうの言葉だね。

小島小学校 1年	宮内 なつみ	おともだちからわたしへ	「ぶつかったとき、ごめんね」 まえ、がっこうのろうかで、ともだちとぶつかりました。そのときに、「ごめんね。」といってくれて、うれしかったです。
小島小学校 2年		ちいきの人からわたしへ	「いってらっしゃい」「おかえり」 まい日、とうげこうをしているときに、ちいきのかたが、「いってらっしゃい。」や「おかえり。」といってくれるので、えがおでとうげこうができるようになりました。
小島小学校 3年			学校から帰ったら、おばあちゃんがいつも「おかえり。」と言ってくれる。わたしは、えがおで、おばあちゃんに「いただきます。」と言う。わたしは、おばあちゃんより先に「いただきます。」といたいな。
小島小学校 4年	小寺 七聖		学校でいやなことがあって、家でお母さんに相談した時、「なにがあってもお母さんは味方だから、どんなことでも助けてあげるから、安心して学校に行っておいで。」とだきしめてくれた。次の日、なんだか強くなった気がして、学校に行けたよ。
小島小学校 5年	早見 柊音		「地域の方はやさしい笑顔」 わたしがいつも学校へ行く時、帰る時、「おはよう、気をつけてね。いってらっしゃい。」とやさしい言葉をかけてくださって、わたしはとってもうれしいです。そしてわたしは、地域の方々のおかげで、安全に登下校をすることができます。これからも、おねがいします。
小島小学校 6年	石原 将瑛		「ありがとう」 いつもけんかをするお姉ちゃんだけど、わからない勉強をおしえてくれた。そんなお姉ちゃんに言いたい。「お姉ちゃん、いつもありがとう。」と。
谷汲小学校 1年	かんばら りこ	ともだちからわたしへ	「だいじょうぶ?」 わたしがころんだときに、ともだちが「だいじょうぶ?」とこえをかけてくれたよ。うれしかったよ。
谷汲小学校 2年	野崎 琴子	おかあさんからわたしへ	「じょうずだね。」 空手でおかあさんに、「じょうずだね。」といってくれたのでうれしかったです。
谷汲小学校 3年	国枝 こうき	かぞくからぼくへ	「がんばったね。」 「すごい!がんばったね。」かぞくみんなが、ほめてくれるから、ぼくはもっとがんばれるよ。
谷汲小学校 4年	寺田 奈央		「おかえり。」 学校から家に帰る途中、地域の人が「おかえり。」や「こんにちは。」と私の家族みたいに声をかけてくれる。私はうれしくなってへんじをやさしくする。
谷汲小学校 5年	高木 琉衣		「ルイなら出来る。」 バレーでミスをした時、コーチやパパは「なにやっとなんや。」って大きな声でおこるけど、ママはそれよりもっと大きな声で「ドンマイ、次、次、ルイなら出来る。」って応えんしてくれる。だから私は、がんばれる。
谷汲小学校 6年	竹尾 結		「どうしたの?」 私がかで落ちこんでいて、だれも気付かないのにまだ2さいの姪が、「どうしたの?」と気にかけてくれる。やさしいね。そう言うってくれるだけで安心するよ。
春日小学校 2年	大くぼ 千ひろ	おかあさんからわたしへ	「ぜったいにできるよ!」 わたしが読書かんそう文で、ながく文がかけると言ったら、おかあさんが、「ぜったいにできるよ!」といってくれたおかげで、1600文字もかけました。けっきょく読書かんそう文コンクールに出せなくなりました。
春日小学校 5年		「兄ちゃん」	ぼくが帰って部屋に入ると、年ののはなれた弟が「兄ちゃん」と言って、ぼくのもとにくる。たどたどしい言葉だけど、家に帰って聞く始めの言葉は、「兄ちゃん」。家に帰ってからの楽しみは、その声を聞くこと。
坂内小学校 2年	新井 晴月	おばあちゃんからわたしへ	「ありがとう」 わたしがこむぎこをさがして、見つけて、わたししたとき、おばあちゃんが「ありがとう」と言ってくれたから、うれしくなったよ。
養基小学校 1年	もりもと しゅりあ	おかあさんからわたしへ	「だいじょうぶ」 かぜをひいたときに「だいじょうぶ」っていってすぐになおりました。これからもほかほかことばをいって、みんなでなかよくいっばいくらいしたいです。
養基小学校 2年	やくら みどり	おかあさんからわたしへ	「いってらっしゃい」 まい朝学校へ行くとき、げんかんでおかあさんが、ランドセルをポンとたたいて、「いってらっしゃい。」っていってくれるから、わたしはうれしくて、なんども「いってきます。」っていっちゃうよ。
養基小学校 3年	澤田 遥菜		「ありがとう」 わたしは、友だちや家族に、役に立てることをしてあげると、「ありがとう。」という言葉がかえってくるのでうれしいです。もし、同じことをしてもらったら、「ありがとう。」とかえして、うれしいきもちをつたえたいです。
養基小学校 4年			私には、小さな弟がいるので、いつもがまんばかり。朝早起きした時、母から「ちょっとだっこする?」と私は「うん!!」。はずかしかったけど、ぎゅっとだっこしてもらって、とても心があたたかくなりました。
養基小学校 5年	岡崎 翔世		「ありがとう」 ぼくのひいおばあちゃんが、この前なくなりました。最後に心の中で「ひいおばあちゃん、ありがとう。さようなら。」と言いました。天国でもおいしい野菜を作ってください。
養基小学校 6年			「おいしい、ありがとう」 わたしは、毎朝早くおきて父のお弁当を栄養に気にしながら作っています。いつも同じようなおかずやおにぎりの味でも、行く前や帰ってきたとき、「おいしかったよ。ありがとう。」と言ってくれるので、とてもうれしいです。これからも続けます。
養基小学校 6年	岡崎 彩響		「ありがとう」 母は、いつも言う。「勉強しなさい。」自分がやらないからわるいのに、正直に動けない。自分で言えないけど、私のために言ってくれている。今だからこそ言うよ。「私のために言ってくれて、ありがとう。」
揖斐川中学校 1年	石田 羽衣		「ありがとう」 私には、伝えきれないほどの「ありがとう」がある。今まで私のことを大切に育ててくれた家族。私のことを陰で支えてくれた友達。私にたくさんのことを教えてくれた先輩や先生。でも一番「ありがとう」と言いたいのはお母さん。世界に私を生んでくれて、「ありがとう」
揖斐川中学校 1年	今村 咲彩		「お母さんの声かけ」 私がか家に帰ると、いつもお母さんは私の顔みてこう言ってくれる。「今日は学校どうだった。いやなことはない?」と心配して聞いてくれる。私のかことを、あたたかく見守っている感じが伝わって、心がかいつもあたたまるな。これからも、声をかけてほしいな。
揖斐川中学校 1年	所 美沙希		「ただいま」「おかえり」 「ただいま」というと、いつもどんなときでも家族はとても大きな声で「おかえりー」と言ってくれる。つかれて帰ってきて、小さい声で「ただいま」と言っても、大きな声で「おかえりー」。一気につかれがふっとんでいく。
揖斐川中学校 2年	馬場 穂乃香		「おはよう」 いつも朝起きると、家の中は「おはよう」という言葉でいっぱい。「おはよう」の一言で今日も一日ががんばろうって思える。次は学校の教室で友達と「おはよう」を言い合う。今日も「おはよう」で1日がかはじまる。

※氏名の紹介を希望されない方の氏名は掲載していません。

※タイトルの記載がない作品もあります。